

ふあみいゆだより

第34号

社会福祉法人瑞穂会
ふあみいゆ行田
行田市大字下須戸75番地
TEL 048-559-4165
ふあみいゆ東館
行田市大字下須戸65番地1
TEL 048-559-5561
令和4年12月発行
発行責任者 藤井尚子
<http://famille-gyoda.com/>



「ふあみいゆ秋祭り」職員による生演奏を楽しみました！！

今年を振り返って

ふあみいゆ行田 施設長 藤井尚子



年の瀬も迫り、今年も残りわずかとなりました。

今年はウクライナ情勢、世界各地で起こっている自然災害などのニュースが流れ、他人ごとではない脅威を感じる年でした。また、次々と型を変えて到来する新型コロナウイルス感染症の波はとうとう当施設にも到来し、5月にふあみいゆ東館、8月にふあみいゆ行田においてクラスターが発生しました。

全国的な介護人材不足は当施設においても例外ではなく、厳しい労務環境の中、感染対策に真剣に取り組んで参りました。それにも関わらず起こってしまったクラスターは、施設運営および経営面において少なからず打撃を与えましたが、スタッフの懸命な努力と関係機関のご支援により、大きな被害に至らずに終息を迎えることができました。これから冬季を迎える時期に光熱費の高騰は追い打ちをかけているところです。

このような環境下ではありますが、私たちが大切にしなければならないことは、利用者様が安心して暮らすの継続と満足度の向上だと考えます。本号では、「施設で暮らす利用者様が久しぶりにご家族に再会した時の嬉しそうな笑顔」、「利用者様に喜んでいただくために業務の合間に準備を重ね開催した行事」、「日々の暮らしの中の小さな発見や喜び」、「各事業所の取り組み」などを中心に、利用者様一人一人の暮らしを懸命に支える職員の想いをお伝えすることにしました。

今年一年、当施設の運営にご理解ご協力いただいたご家族の皆様、関係機関の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



秋のふあみいゆ行田

敬老会



10月22日、ふあみいゆ行田の敬老会が開催されました。今年度賀寿者の方は24名。一番のご長寿は103歳のM様でした。規模を縮小して賀寿者の家族様のみにご参加いただきましたが、利用者様にとって久しぶりに家族様と一緒に過ごせる時間は格別だったことと思います。褒賞状を各賀寿者の方へ藤井施設長よりお渡しすると、涙ながらに喜んで下さる方もいらっしゃいました。今回は職員有志によるライブ演奏があり、「上を向いて歩こう」と「川の流れるように」の2曲を演奏させていただきました。どの世代も知っている曲であり、一緒に口ずさみながら和やかに楽しくお祝いすることが出来ました。皆様、本当におめでとうございます。

ケアマネジャー / 生活相談員 喜多村美紀



ふあみいゆ秋祭り



11月1日、今年の秋祭りは密を避けるために2部制にし、利用者様と職員のみで開催しました。2Fホールでは射的やボールすくいなどのゲーム、綿あめなどを楽しんでいただきました。職員の演奏する生バンドに合わせてみんなで歌ったり、Youtubeの音楽に合わせて踊りだす利用者様もいらっしゃいました。昼食は屋台のラーメン屋さんユニットを巡りました。チャルメラのメロディーを聴きながら順番待ちをしていると「お腹すく音楽だね」と話す利用者様も。醤油、みそを選べるラーメンは熱々で美味しくいただくことができました。3時には利用者様リクエストの石焼き芋屋さんが、お馴染みのメロディーの「いしや〜きいもお芋…」とユニットを回りました。楽しくゲームをして、歌って踊って、美味しいものを沢山食べて盛り上がった1日となりました。

秋祭り担当 井上翔子

ハッピーメニュー

毎月人気の「ハッピーメニュー」は調理師の得意料理をとり入れています。10月は「和牛サイコロステーキ」でした。部位はステーキに最適なサーロインと柔らかくうま味のあるランプ肉を取り交ぜ、おろし大根と醤油ベースの和風ソースでご提供しました。絶妙な焼き加減で仕上げた柔らかくジューシーなお肉は沢山の方を笑顔にしました。栄養課課長補佐(管理栄養士) 藤原富男



お楽しみスイーツ

毎月25日は手作りおやつの日です。10月はマロンケーキを提供しました。こだわりのココアスポンジを使い、間に刻んだ栗を入れた生クリームをサンドし、上段には栗ペーストを絞り、栗の渋皮煮をトッピングした、手の込んだ季節感のあるケーキでした。甘さ控えめで好評でした。次回もお楽しみに！ 栄養課課長管理栄養士 小澤まゆ美



ゆり・りんどうユニット 切り絵・長親体操



「体操すると身体が楽になる」「体を動かしたい」との希望があり、長親体操を実施。毎日楽しく励んでいます。

午後になると、洗濯物や清拭タオルなどを畳んで下さる利用者様ですが、「たまには違う事がしたい」との希望で、切り絵に挑戦しました。職員とも楽しそうにコミュニケーションを図りながら、笑顔で完成することが出来ました。

ゆり・りんどうユニット介護職員 風間幸子

こぶしユニット 楽しい時間



利用者様との日々の生活の中で、楽しい！ 凄い！と感じる瞬間があります。

隙間時間に職員が歌い出すと、つられて4人5人とたちまち大きな歌声に。

ある日には、談笑しながら数人の方とハサミを使って工作していると、「昔は良く友達と色々な物を作ったんだよ。」とイキイキとした表情で話されます。これからもたくさん楽しい時間を紡いでいきたいと思います。

こぶしユニット介護職員 志保澤智賀子

さくら・はくれんユニット 日光浴



寒さが段々と厳しくなってきましたが、みなさん元気にお過ごしでしょうか。

さくら・はくれんユニットは、日当たりが良いので、日光浴を行ったり外の田んぼの様子を眺めながら、おしゃべりを楽しんだり、利用者様は楽しく過ごされています。

このコロナ禍で、思うようにイベントやレクリエーションを行うことが出来ませんが、利用者様が笑顔で楽しく過ごせるように、お手伝いしていきたいと思っています。

さくら・はくれんユニット介護職員 大平雅滉

ききょうユニット 食欲の秋



A様は、食べる事が大好きです。いつも美味しそうに召しあがります。

「これは味付けがうまいんだよー」と嬉しそうにニコニコ召しあがる姿に、こちらも自然と笑顔になってしまいます。隣の利用者様も「いつも美味しそうに食べるんだよ」とにっこり。

食欲の秋、これからもたくさん食べて元気に過ごしていただきたいと思います。

ききょうユニット介護職員 松本星奈

まんさくユニット お手伝い



普段は生活の支援を必要とされるA様ですが、「何か私にできることがあるなら手伝うよ。」と、洗濯物をたたんだり、食器を洗ったり、進んでお手伝いをしてくださいます。

「こんなことでよければいくらでもやれるよ。」と手際よく行う姿に、これまで送られてきた生活で身についた習慣であることを感じる事が出来ます。

まんさくユニット介護職員 矢内美奈

見守りシステム「HitomeQ」導入!



2025年、日本は65歳以上の高齢者人口が30%を突破し、要介護者の増大と介護スタッフの人材不足は一層深刻化すると予測されています。

介護人材の不足は、介護スタッフ一人当たりの負担増大を伴いケアの質の低下を招き、大きな社会課題となっています。

そのような中、一部のユニットにAI技術を用いたケアサポートシステム「HitomeQ」を導入しました。

利用者様の居室にケアシステムを設置し、通知があった時のみ、専用スマートフォンから画像や動画で利用者様の様子を確認できるようになりました。その為、訪室すべきか、見守るべきタイミングなのかの的確な判断ができ、「利用者様のプライベートな時間を大切に、必要な訪室は通常通り」と、利用者様のケアサービスの向上につながっております。また、利用者様の動作分析により、居室内での事故予防および事故後の検討も可能となったため、今後のリスクマネジメントにも大きく期待しております。

施設ケア課課長 近藤慶一



本当に大切なものは何ですか？

ふぁみいゆ東館 館長 野口清美



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月初旬に、中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数カ月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となり、我が国は8回目の流行の波が訪れようとしております。

3年間、COVID-19を恐れ、感染症対策に悩み追われ、殆どの時間をコロナに費やしたと言っても過言ではありません。本当にこれで良いのでしょうか？

私達、ふぁみいゆ職員の使命は3つの基本理念を念頭において介護に携わる事です。

COVID-19を正しく恐れて普通の暮らしをサポートし、ご家族様や地域との結びつきを絶やさない事、ご家族様や地域の方々に施設の感染対策を理解し協力していただくことが重要です。

利用者様の中には100歳を超えるご長寿の方や疾患を抱え余命幾許もない方がいらっしゃいます。その方にとってCOVID-19対策よりも、一瞬の楽しい時間が大切なのでは…。

COVID-19に縛られた生活より“こうありたい=Being”を実現出来る生活をサポートする事が私達の使命でないでしょうか？ COVID-19に振り回されず、迷わず「利用者様の幸せ」を考えた支援を提供出来るよう、職員一同力を合わせていきたいと思っております。



同時に忘れてはならないのは職員のメンタルヘルスです。先が見通せない中、大変な緊張下で業務にあたり、普段以上に気負って無理を重ねております。コロナ禍前は旅行やライブ、飲み会や娯楽施設等でストレスを解消し、気持ちの切り替えが出来ましたが、今では人混みを避け、行動範囲が縮小され、ストレス解消の場へ出向くことが少なくなりました。“人を支える側”である職員も自覚している以上にストレスを抱えておりますので、声を掛け合いながら働きやすい環境作りを今後も努めて参りたいと思っております。

ふぁみいゆ東館敬老会



令和4年9月17日、東館にて敬老会を開催致しました。コロナ禍ですが、3年ぶりに賀寿者のご家族様を招いて一緒にお祝いしました。

今年の賀寿者は3名。最高齢の利用者様は101歳のK様です。ご家族様と共に褒章状を授与され「ありがとうございました」としっかりとしたお言葉で来年への期待が覗えました。

アトラクションは職員の知人による舞踊。京都の舞妓さん!?と間違える程。綺麗な着物を身にまとい素敵な踊りを音楽に合わせて踊っていただきました。

久しぶりのイベントで感極まり涙ぐまれた利用者様もいらっしゃいました。

利用者様、ご家族様と共に敬老をお祝い出来た事、素敵な思い出となりました。

皆様本当におめでとうございました。

東館特養介護職員 奥山富希子



大好きなお母様のお誕生日 ～面会の一コマ～



8月15日、面会当日はH様のお誕生日でした。息子様の顔を見て

H様 「あれ～。あんちゃんが来たんだ。どうしたんだろう？」

息子様 「今日は母さんの誕生日だよ！」

と笑いながら言葉をかけられました。

H様 「今日、私…、誕生日なんだ。いくつになったんだろうな～？」

息子様 「98歳だよ！」

とアクリル板越しで楽しそうにお話をされていました。コロナ禍ではありますが、お誕生日の記念として、マスクを外し、記念写真を撮影致しました。感染予防対策で面会制限しておりますが、手と手を握り面会が出来る日を職員一同願っております。

東館特養介護職員 安田千夏



笑顔の種をたくさんまこう!! ふぁみいゆ秋祭り 2022



7月より実行委員を中心に委員会を重ね 10月29日に予定していた秋祭り。前日にコロナの関係で延期し、11月26日、1ヵ月遅れの秋祭りとなりました。今年のスローガンには、サロンを含め地域とのつながり、ご家族様を招待する事で「沢山の笑顔が生まれて欲しい願い」を込めました。

秋祭り当日は天候に恵まれず肌寒い日でしたが、利用者様、ご家族様、サロン協力員、地域の皆様、そして職員が大いに笑い、「笑顔の種」を沢山まく事が出来ました。至らない点もありましたが感無量です。来年はまた種が花を咲かす事が出来るよう職員一同頑張っていきたいと思ひます。

皆様ご協力ありがとうございました。

東館秋祭り実行委員 村越朝子



小東風名物に新たな風



お祭りと言えば「小東風名物E様のフライ」ですが、今年は新たに「Y様の焼きそば」が追加されました。Y様は昔焼きそば屋を営んだ経験から、本格的な屋台の味を振る舞いました。

フライと焼きそばの香ばしい香りが秋祭りを盛り上げ、盛大な反響から、ホットプレートから鉄板へ来年は準備しようと思ひます。

小東風秋祭り実行委員 浅見久美子

小東風 ～小さな卒業式～



ふぁみいゆだより 33号「生き生きとした暮らし」で紹介したN様が、9月末に小東風を卒業されました。心身共に安定し、住み慣れた家で料理や花壇の手入れを行いながら自立した生活ができるようになったからです。

ご利用最終日は、小東風で知り合った親友とホットケーキを焼いて振る舞って下さいました。大好きなお花を受け取り心に残る言葉を一言。「私は小東風に来て1年と半年。皆さんと一緒に冗談を言ったりして、とても楽しい日々を過ごす事が出来ました。本当にありがとうございました。」全員で笑って送り出しました。頑張ってお別れ。

ふぁみいゆ小東風 介護主任 島崎かね子

利用者様の願いを叶えます ～東館特養年間目標～

①忘れられない味噌ラーメン

ご家族様より「昔から味噌ラーメンが好きでいつも食べてたんですよ」とお話を頂き、お看取りの利用者様に味噌ラーメンを提供しました。普段食事が進まない利用者様が、味噌ラーメンの薫りを嗅いで1口1口味わい、普段より口を大きく開けて美味しそうに召し上がりました。いつまでも食べたい物を口に出来る環境を大切にして行きたいと思ひます。



②孫のお店の焼き鳥

就寝介助時にお孫さんの写真を見ながら「昔は孫のお店の焼き鳥をよく食べたんだ。美味しかったな…」と話されていた事を思い出し、息子様の面会時にお伝えした所、翌日に沢山の焼き鳥を持って来て下さいました。ご本人様は「それが美味しんだよ」とつくねを1本ペロリといただき満足されました。



PS:本当は2日連続で息子様が来た事が一番嬉しかった様子です。

東館特養 介護主任 持村由加里

小東風 地域とのつながり ～ミカン狩り～



ご縁のあったご家族様のご厚意で毎年ミカン狩りの声をかけていただいております。今年もよく晴れた暖かい日に伺い、利用者様と共にミカン狩り。長年の知恵でハサミを使用せずもぎる行為にビックリしました。ミカンだけでなく、毎年冬瓜や柚子も声をかけていただき伺った際にはゆっくりとお話する時間を作り交流を図っています。

ふぁみいゆ小東風 ケアマネジャー 木村貴則

ふぁみいゆデイサービスの暮らし

一年を振り返って



この一年も新型コロナウイルスとの戦いでした。利用者様、ご家族様、職員、職員の家族、係わる全ての人の体調にも気を配りながら感染対策をし、利用者様の自立支援のお手伝い、行事等、職員一丸となってデイサービスを支えてきました。利用者様、職員が感染した時もしっかりと感染対策をしたおかげでクラスターにならず乗り切りました。

そんな中、サービス利用中の利用者様2名の方が今年めでたく100歳を迎える事が出来ました。殆どお休みする事なくリハビリを頑張っていることでお二人とも歩いて生活されております。今後も元気なデイサービスを目指し励んでいこうと思います。

デイサービス生活相談員 柳川 武

段差解消とレイアウトチェンジ



2011年に発生した東日本大震災の影響で、デイサービスのリハビリ室と利用者様の席の行き来に段差が生じていました。金属板で補正をしたものの、利用者様が金属板と床との数ミリの

段差につまずいてしまう危険がありました。今年、6月に1週間程段差解消の為の工事が入り、両端に手すりが付いたスロープに改修されました。同時に棚も作成され、リハビリ道具や歯ブラシセットなどの収納に活用されています。スロープは緩やかで、安全に移動できるようになりました。シルバーカーの利用者様も安心してご利用いただいています。

機能訓練指導員(作業療法士) 三根裕太

ふぁみいゆケアプランセンター

介護保険サービスについて

介護保険サービスは、大きく「在宅サービス」と「施設サービス」の2種類に分類されます。

◆在宅サービス
訪問介護・通所介護・通所リハビリ・訪問看護・訪問リハビリ・短期入所生活(療養)介護・福祉用具貸与等

◆施設サービス
特別養護老人ホーム・老人保健施設・療養型施設・有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者住宅等

「在宅サービス」は、自宅において提供されるサービス、「施設サービス」は施設へ入所して提供されるサービスです。

ご本人様やご家族様が情報収集やサービス調整をするのは時間もかかり大変だと思います。上記の各サービスの詳細な情報提供やサービス調整等がケアマネジャーの仕事の一つとなっております。お困りの事が有りましたら、是非ご相談を頂ければと思います。

在宅ケア課長 河野真也

デイサービス敬老会



9月21日(水) 敬老会を催しました。賀寿者の方は18名、そのうち2名の方はなんと100歳でした。皆様の長寿をお祝いして職員が黒田節や長生き音頭を踊りました。賀寿者の方からも感謝のお言葉を頂き、和やかな敬老会となりました。

今年は記念品に蓋つきのコップを差し上げました。おやつにはどら焼きを召し上げて頂きました。これからも皆様が「来てよかった、楽しかった」と言ってもらえるデイサービスセンターを目指して頑張りたいと思います。デイサービス介護職員兼相談員 荒木留美子

訪問看護

訪問看護ステーション



今年8月よりふぁみいゆ東館に訪問看護ステーションを開設しています。ふぁみいゆの基本理念である「生きていて本当に良かったといっていただけ暮らしの追究」を、在宅生活を支えていくものとして「この理念に則っていききたい。私は全てがこの理念に尽きる」と思っております。

在宅で過ごされる利用者様、ご家族様の目線に合った看護の提供、住み慣れた我が家での生活をサポートしたい、力になりたいという思いを胸に、私たちスタッフも成長できるように努めてまいります。どうぞ、よろしくお願い致します!

訪問看護ステーション管理者 奥野しのぶ



訪問介護



菊池 泰子



川島 有理

今年5月から菊地ヘルパー、9月に川島ヘルパーが仲間に加わり、今まで培った訪問介護の知識や経験を生かしパワーアップしています。

また、ふぁみいゆ訪問介護は感染対策に力をいれています。感染の疑いがある方、又は感染してしまった方の訪問に休まず伺えるように感染対策の研修を行い、体制を整えていますのでご心配ありません。今後も利用者様が今の暮らしを継続する事が出来るようにお手伝いをしていきたいと思っています。

サービス提供責任者 蛭間理恵

ふあみいゆ文芸

俳句



朝夕は寒さ厳しく冬ごもり

佐川八重美

まんさくでバラのおり紙目が光る

武藤八重子

布団干し焼耕のにおい秋日和

平社伊津代

初なりの色づきし袖いとおしい

野崎いづみ

白き月赤く染まりし子守柿

池田みさ子
(野崎いづみさんの
母九一歳)

ふあみいゆに家内とともに秋深し

蓮見弘一

柿の花かきのいろづき食べどころ

加藤ハル

金色の田んぼを眺めふあみいゆで

木村絹代

稲刈りのあとに鷺来ては羽ばたいて

寺井房子

並木路セピアの秋に風いらり

原あや子

銀杏の黄色い葉っぱ見事だな

小山あさ子

秋の日にみかん色づく昼あつし

田島久子

ほめられてママの後ろへ七五三

森田奏子

酷暑日やうなぎ一枚まだ足りぬ

松井隆

人々の祈願の流れ菊かほる

松井美枝子

手をつなぎ冬日の中を母子かな

柴崎泰治

山の月傾くまでの長湯かな

小嶋悦雄

秋深し終の覚悟なかなか

中村信子

すべり台笑う孫の背赤とんぼ

鈴木よ志江

清秋の子どもらの声天高く

増田秀子

石露の花の明かりや友見舞う

杉田すみ

焼き芋の呼び声笑顔華開く

篠崎則子

短歌



ふあみいゆの庭にも赤青きいろ
色とりどりの木の葉舞う

梅澤さく

梅園が笑顔をつなぐふあみいゆの
梅ジェースと梅干しの歌

中里えり子

いつしかにデイサービスを待たわびる
秋の七草愛でるこの頃

關口千代子

新米の炊きたてご飯胃にやさし
体重計を避ける日々なり

杉山嘉子

秋夕焼け月の砂漠をはるばるとよ
夫の鼻歌傍へに歩く

小嶋敏子

気付いてる!?その言動が輪を乱す
自身で守れ!自身の居場所

匿名



地域交流館 サロン柿の木

サロン柿の木の想い



令和4年の年末を迎えましたが、コロナ感染は衰えを見せず油断できません。サロン柿の木の活動も縮小を強いられてから3年を経過しました。

そうした中でも「梅っ子農園」の梅は大豊作でした。協力員の皆さんは早起きをして漬けた梅を干しました。干した梅は樽の中で熟成中、来年の節分のころJAで販売の予定です。12月初旬には男性協力員さんを先頭に梅の剪定を行います。来年はさらに立派な梅の実が実ることでしょう。

地域の皆さまが楽しみにしておられた月2回のランチ会だけはお休みのままで、とても残念です。でもサロン活動の輪は徐々に広がり、男性の方も増えております。サロンが地域の皆様の憩いの場所となるよう活動を続けてまいります。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い致します。

サロン柿の木 運営委員長 杉田すみ

ふぁみいゆ東館の「秋祭り」

11月26日(土)ふぁみいゆ東館の「秋祭り」が開催されました。

職員さんは総出勤、サロンの協力員さんも協力体制をとり臨みました。利用者様もご家族も全員参加、一体感のある素晴らしい秋祭りでした。

利用者様はご家族の隣りで玄関ポーチから漏れる陽ざしを浴びながら、秋の小半日を楽しめました。「お看取り中の〇〇様も参加されているんですよ」野口館長の嬉しそうなささやきを耳にしながら「一人ひとりを大切にした介護が行われていますね」と思ったことでした。 サロン運営委員 小嶋敏子



天候にも恵まれて2022 東館秋祭り



利用者様もご家族も全員参加



ミャンマーのお国の踊りを披露する 職員のラビエイアウンさん



親子でツーショット



お祭りには欠かせないストッキング相撲



観客による職員のゲーム(玉入れ、縄跳び、風船割りなど)の人気投票



すばらしいパフォーマンスで「館長賞」を獲得した下村志麻さん



サロン協力員の踊り(長生きサンバ、他)

バザー開催!!



11月15日(火)サロン柿の木の協力員により特養ふぁみいゆ行田においてバザーを開催しました。利用者様はあれこれ手に取りながら、久しぶりのショッピングを楽しんでいらっしゃいました。



子どもランチ会

子どもランチ会の可愛いお客様。毎月季節感のあるメニューを提供できるようがんばっています。



行田市の藤間地域に住んでよかったと思うこと



縁あって藤間地区に越してきて40年以上になります。私の家の周囲はほとんど田や畑ばかりです。買い物は車で20~30分離れた街まで行かなければなりません。末の息子が6才の頃は子育てにかかわるママ友もおりましたが、何となく満たされないものを感じながら、田舎の生活はこんなものだろうと納得していました。

でも私の人生に小さな変化が起きたのは、ふぁみいゆ東館に「サロン柿の木」が併設された3年前のことでした。サロンのボランティアとして声をかけていただき、お手伝いをするようになってからです。施設の利用者様と歌う「歌いましょう」の時間も、「子どもランチ会」のお料理作りも楽しく、何よりもお仲間との会話が楽しく、いつの間にか私の生きがいになっていました。お友だちがたくさん出来、この地域に住んで本当に良かったと思うこの頃です。 サロン運営委員 榎本和子